



# 学校だより 神橋

令和元年 8月 27日  
横浜市立神橋小学校

9月号



## ハーバード大学 20の教訓

～「デマ」からでた「誠」～

校長 末松 隆一郎

立秋とは名ばかりの暑さ、まだまだ健在ぶりを誇示するかのように照り付ける日差しの中にも、ふと空を見上げれば、夏の入道雲と秋のすじ雲が同じ空に現れて行合う「行合いの空」も見られる頃となりました。季節が確実にうつろい始める中、校舎に子ども達の元気な声が帰ってきました。どの子もまた一回り大きく成長した姿に、喜びと頼もしさを感じます。

以前、アメリカのハーバード大学にある図書館に、「20の教訓」が書かれてあると話題になったことがありました。学内にある90の図書館は24時間開いているそうです。その1つの図書館に書かれていたと言われる「20の教訓」とは、次のようなものです。

1. 今眠る者は夢を見る。今勉強する者は夢を叶える。
2. あなたが無駄にした今日は、どれだけの人が願っても叶わなかった未来である。
3. もう遅いと感じたその瞬間が、物事をはじめ一番のタイミングである。
4. 今日やるほうが、明日やるより何倍もいい。
5. 勉強の苦しみは一瞬、勉強しなかった苦しみは一生。
6. 勉強するのに足りないのは時間ではない。努力だ。
7. 幸福に順位はないが、成功には順位がある。
8. 学習は人生の全てではないが、人生の一部として続くものである。
9. 苦しみ避けられないのであれば、むしろそれを楽しめ。
10. 成功への道は、人より早起きし、人より努力することである。
11. 怠惰な人が成功する事は決してない。真に成功を収める者は徹底した自己管理と忍耐力を備えた者である。
12. 時間は、一瞬で過ぎていく。
13. 今のよだれ(渴望)は将来の涙となる。
14. 犬の様に学び、紳士の様に遊べ。
15. 今日歩くのを止めれば、明日からは走るしかない。
16. 一番現実的な人は、自分の未来に投資する。
17. 教育の優劣が収入の優劣。
18. 過ぎ去った今日は二度と帰ってこない。
19. 今この瞬間も相手は学んでいる。
20. 努力無しに結果無し。

最初にこの教訓を目にしたとき、「さすが世界屈指の名門大学」と思ってしまいましたが、よくよく調べてみると、インターネット上で流れた「デマ」であることが分かりました。もともとは、24時間開いているハーバード大の図書館では、朝の4時5時まで勉強している学生がいるらしいという掲示版の情報が、翻訳・拡散していく中でできたものだそうです。それは、「世界屈指のハーバード大の学生であるならば、そうに違いない、そうあってほしい。」という思い込みや羨望、そして、「自分たちもそうになりたい」という願望や戒めがそれぞれの中にあっただから、ここまで体系化され完成されたものになったのではないかと思います。

たとえ「デマ」であると分かっても、この「20の教訓」にある言葉は、それぞれにとって正しい生き方や考え方を示唆するものが含まれているのではと思います。それぞれに、それぞれの「教訓ナンバー」があるのではないのでしょうか。「デマ」からでた「誠」ではありますが、一人一人が感じた教訓を胸に、新たなスタートを切っていきたいと思います。

